

## 次に、第2の柱

『ふるさとを愛する豊かな心づくり』についてであります。

**学校教育**につきましては、児童・生徒が確かな学力を身につけ、それぞれが自分自身の夢を描き、その夢に向かって成長していける「未来志向の教育」に継続して取り組んでまいります。

**学力育成**につきましては、「大田市学力育成推進に関する基本方針」に基づき、子どもが「できた・わかった・やってみたい」を実感できる授業づくりに向け、各校の自主性・主体性のある取り組みを推進してまいります。

**教育の魅力化**につきましては、学校・家庭・地域と連携しながら0歳から18歳までの学びを支え、切れ目のない教育活動を推進してまいります。

また、大田市の教育活動について、「教育フェスタ」や「教育月間」、各種メディアなど、様々な機会において情報発信を行うことで、市民の皆さまに関心を持っていただき、さらに積極的に関わっていただけるよう努めてまいります。

**教育DXの推進**につきましては、学校内のネットワーク環境の充実や、運営体制支援の構築など、引き続き、GIGAスクール構想の実現に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

**教育機会の確保**につきましては、障がいのある児童・生徒や外国にルーツを持つ児童・生徒、不登校傾向の児童・生徒など、個々の多様性に応じた学びの確保に

向け、支援員等の適切な配置や、ICTのさらなる活用に努めてまいります。

また、保護者や児童・生徒の思いや考えに寄り添えるよう、「子どもを語る会」や支援体制の充実に向けた研修等を実施してまいります。

**教職員の働き方改革**につきましては、引き続き、統合型校務支援システムの活用や、教員への一人一台端末の配備などにより、教職員の負担軽減を図ってまいります。

さらに、各校の教職員の勤務実態の把握に努め、地域や保護者の皆さまのご理解とご協力を得ながら、負担軽減に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

**部活動の地域展開**につきましては、今年度設置した検討委員会において、大田市にふさわしい部活動のあり方について議論を深めてまいります。

**社会教育**につきましては、引き続き、県内外の大学と連携して、学生が大田市の地域課題に主体的に関わる機会を創出することで、若者の地域理解と地域参画を促進してまいります。こうした取り組みを通じて、次世代を担う人材の育成と地域の持続的な活力の創出に繋げてまいります。

**図書館**につきましては、多様なイベントを通じて、交流と学びが生まれる図書館づくりを推進してまいります。

また、「第4次大田市子ども読書活動推進計画」に基づき、地域や家庭、学校などと連携しながら、子どもが本に触れ、親しめる機会の確保に努めてまいります。

**芸術文化の振興**につきましては、今年度実施した市民会館の施設・設備の劣化

状況等の調査結果を踏まえ、必要となる改修や今後の整備の方向性について、検討を進めてまいります。

**スポーツの振興**につきましては、「大田市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツを通じた「人づくり」、「健康づくり」、「地域づくり」を柱に、競技スポーツの競技力向上を図るとともに、市民の体力づくりや日常的な運動習慣の定着に繋がる機会の充実に努めてまいります。

併せて、連携協定を締結している日本体育大学の協力を得ながら、指導者の育成や資質向上に取り組み、誰もが安心してスポーツに親しめる環境づくりに努めてまいります。

令和12年に開催予定の「**島根かみあり国スポ・全スポ**」につきましては、引き続き、県や関係機関と連携し、準備委員会の設立や、大田市で開催が予定されている弓道・空手道・銃剣道の各競技団体との協議、会場の施設管理者との調整など、安全で円滑な大会運営に向けた準備を本格的に進めてまいります。

**姉妹都市 韓国大田廣域市との交流**につきましては、令和9年に姉妹都市縁組40周年を迎えることから、記念事業の実施に向けた準備を進めてまいります。

また、**友好都市 岡山県笠岡市**との交流につきましては、令和9年の石見銀山遺跡世界遺産登録20周年を契機とし、新たな交流の取り組みを検討してまいります。